

海洋産出試験最新情報

2012年8月1日

「メタンハイドレート層からのコアサンプル（地質試料）採取に成功」

2012年6月29日~7月4日に、第1回海洋産出試験を実施する予定の第二渥美海丘のメタンハイドレート層から、圧力を保持したコアサンプル（地質試料）を含むコアの採取に成功しました。

本作業は2012年2~3月に実施した事前掘削の追加作業であり、事業主体：経済産業省（METI）、実施主体：独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）、オペレータ：石油資源開発株式会社（JAPEX）という体制のもと、独立行政法人 海洋研究開発機構（JAMSTEC）の地球深部探査船「ちきゅう」を備船して実施されました。

本海域では、すでに、JOGMECが開発した圧力保持コア採取ツール(PTCS)を用いて、2004年にメタンハイドレートのコアサンプルの採取に成功していますが、今回は、JAMSTECが改良して製造した Hybrid PCS を使用して新たにコアサンプルを採取したものです。

今回の作業では、メタンハイドレート濃集帯を含む約60mの地層を掘削して、延べ約40mのコアの採取に成功しました。JOGMEC 及び独立行政法人 産業技術総合研究所（AIST）などの研究者によって、コアの一部は船上で分析されましたが、7月24日に八戸港に着岸した「ちきゅう」からは圧力を保持した状態で陸上に移送されており、今後、より詳細な分析が行われる予定です。

今回得られた試料の分析結果は、事前掘削で得られた物理検層等のデータと合わせて、メタンハイドレートを含む地層の特性把握や生産手法開発に利用されます。



写真1 コア採取の風景

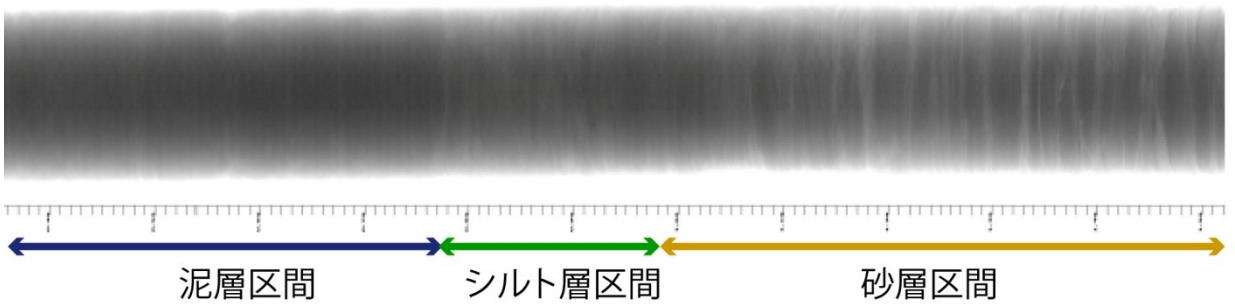


写真2 コアの CT 写真 (メタンハイドレートを含む砂層内の微細な堆積構造が見られる)



写真3 圧力コアの分析風景